

H29 5,474億42百万円 (←H28 5,582億17百万円) Δ1.9% ➡ H29政策経費2,368億円 (H28 2,343億円) +1.1%

当然減要素
・新幹線関係経費
・経済緊急対策融資
・耐震化経費 を除く

> H28 10月補正予算(臨時議会) 149億円
> H28 2月補正予算(先行提案) 85億円
> 人件費: 1,322億円 (H28 1,326億円) Δ0.3%
> 公債費: 924億円 (H28 930億円) Δ0.7%

とやま未来創生戦略推進枠 (25.2億円) 「とやま未来創生戦略2016」に基づく人口減少対策や地域活力創出を図る施策 (H28 2月補正 地方創生拠点整備交付金事業等 (22.5億円) との合計…47.7億円)

- 結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進**
出会いのサポートなど結婚支援体制の強化、仕事と子育ての両立支援、子育ての喜びを伝える啓発活動 など
- 産業・地域経済の活性化**
県内企業の連携促進、先端分野産業の成長促進、海外販路拡大支援、県産農林水産品のブランド化 など
- 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり**
県立大学看護学部を整備(H28 2月補正)、インターシップの推進、県外学生のUIターン促進、県内企業の魅力発信 など
- 観光の振興、定住・半定住の環境づくり**
首都圏等での情報発信強化、世界で最も美しい富山湾を活かした誘客、大規模コンベンションの誘致 など
- 女性が輝いて働ける環境づくり**
ものづくり産業や建設業分野への女性の参画促進、起業を志す女性農業者への支援 など
- 高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現**
専門的知識・技能を有する高齢者と県内企業とのマッチング支援、障害者が活躍できる環境づくり など
- 多様な人材の確保と労働生産性の向上**
ものづくり人材の確保・育成、建設業における女性増加に向けた訓練・研修、革新的な営農技術の構築支援 など
- 交通ネットワークの整備と活力あるまちづくりの推進**
富山きとときと空港の活性化、地域交通ネットワークの充実、伏木富山港の利用促進、新幹線利用状況調査 など
- 健康でともに支え合い安心して暮らせる社会の形成**
食生活の改善や運動習慣の定着等による生活習慣病予防運動の展開、認知症サポート体制の充実 など
- 未来を担う人づくり**
発達段階に応じたライフプラン教育の推進、私学教育の充実支援、家庭における教育力の強化 など

とやま新時代チャレンジ枠 (50.5億円)

・「富山県経済・文化長期ビジョン」に掲げる将来像や構想の実現に向けた施策
・新たな総合計画の策定を見据えたモデル的、先行的な施策 など

活力とやま [17.4億円]

- グローバル競争を勝ち抜く力強い産業の育成と雇用の確保**
IoTの導入など第4次産業革命への対応、医薬・バイオ・CNF・クリエイティブ産業等の育成、商店街後継者の育成 など
- 生産性・付加価値の高い農林水産業の振興**
富山米新品種戦略の推進、1億円産地づくりの加速化、輸出戦略支援体制強化、県産材の利用促進、全国植樹祭の開催 など
- 環日本海・アジア新時代に向けた陸・海・空の交通基盤の強化**
伏木富山港の機能強化(クレーン更新、コンテナターミナル拡張)、富山きとときと空港へのチャーター便誘致 など
 - ◆ 社会資本の整備等
 - ◇ 公共・直轄: 597.3億円 (H28当初601.2億円、Δ0.6%) … 一般公共ではH28当初431.5億円、+0.1%
・富山高山連絡道路、国道8号豊田新屋立体、農地防災事業(庄川左岸地区)、富山駅付近連続立体等の整備促進 など
 - ◇ 主要県単: 133.4億円 (H28当初134.1億円、Δ0.5%…高校耐震化完了)
・土木・農林の一般県単はH28当初113.5億円、+1.8%
・地方創生推進基盤整備事業、県単独道路河川等災害未然防止対策事業 など
- 観光振興と魅力あるまちづくり**
立山黒部の世界ブランド化、外国人観光客対応の充実、文化財の魅力発信、豊かな食の磨き上げと発信 など

未来とやま [17.9億円]

- 結婚・出産・子育ての願いがかなう環境づくり**
県民活躍と働き方改革の推進、企業子宝率の調査・活用、子育て環境の整備、不妊症や不育症治療への助成 など
- 真の人間力を育む学校教育の振興と家庭・地域の教育力の向上**
県立大学学科拡充、いじめ・不登校やネットトラブルの防止、少人数教育の推進、英語教育の充実、ふるさと教育の推進 など
- 文化・スポーツの振興と多彩な県民活動の推進**
県美術館の開館、大伴家持生誕1300年記念事業、国際北陸工芸サミット(仮称)の開催、トップアスリートの育成、留学生定着促進 など
- ふるさとの魅力を活かした地域づくり**
移住情報の発信強化や移住希望者データの収集、立山砂防の国際的認知向上、ユネスコ無形文化遺産の魅力発信 など

安心とやま [10.2億円]

- いのちを守る医療の充実と健康長寿日本一**
医師、看護師の確保とスキルアップ支援、IoTを活用した在宅医療の充実と健康づくりの推進、犯罪被害者等の支援 など
- 住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉の推進**
地域包括ケアシステムの構築、介護・保育人材の確保、認知症対策の推進、障害者福祉の充実 など
- 環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県」づくり**
富山物質循環フレームワークを踏まえた食品ロス削減等、ライチョウの保護、小水力発電の推進、地熱資源開発調査 など
- 災害に強く、「日本一安全・安心な県」づくり**
地震・津波・火山対策の充実、効果的な火災予防策の研究、高齢者交通事故の抑止、サイバー犯罪への対応強化 など

人づくり [5.0億円]

県大学科拡充・看護学部関連(4.6億円)[未来再掲]との合計…9.6億円

- 富山県や日本を担う子どもの育成**
子どもの自然科学学習の充実、グローバル交流による次世代リーダーの育成、小中一貫教育についての研究推進 など
- 若者の成長と自立、起業の支援、社会参加の促進**
ICT教育の推進、大学生の県内定着促進、若者の社会福祉活動支援、高校生の高度資格取得の奨励や海外留学支援 など
- 女性の活躍とチャレンジへの支援**
働く女性の活躍推進に向けた調査、女性・若者のまちなか起業の促進や建設人材の育成、イクボス企業のネットワーク形成 など
- すべての人が活躍できる環境づくり**
高度ものづくり人材・農業の担い手・戦略的な観光地域づくり人材の育成、子どもほっとサロン事業 など
- エイジレス社会実現と「かがやき現役率」の向上**
専門知識や技能を有するシニア層の就労促進、ねんりんピックの開催準備、エイジレス社会リーダーの養成 など

行財政改革の推進

約400億円の財政構造赤字は解消(H28)できたが、依然として国・地方ともに厳しい財政環境

- ◆ 社会保障関係費は大幅に増加(扶助費H28 557億円→H29 574億円: +17億円)
- ◆ 国内経済は緩やかな回復基調を維持しているものの、県税収入は未だ厳しい状況
〔県税の状況※〕 H27当初1,288億円→H28当初1,319億円→H29当初1,308億円 (参考)H28決算1,354億円
(※実質税率ベース、H28 H29は地方法人特別譲与税を含み、地方消費税率引上げ分(5%→8%)を除く)

国社会保障関係費
H28 319,738億円→H29 324,735億円
(+4,997億円)

リーマンショック
前の水準

地方交付税などの確保

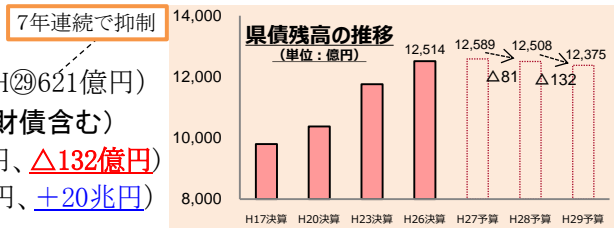
- ◆ H29の地方財政対策における地方交付税等(臨財債含む)…203,750億円(H28 204,883億円)…Δ1,133億円、Δ0.6%
〔本県の状況〕 H29(地方交付税+臨財債)…1,546億円(H28 1,544億円)…+2億円、+0.1%

行政改革による人件費の削減等

- 〔職員数の削減〕
- ◆ 一般行政部門…H16からH26までの10年間で削減目標20.0%(832人)を上回る21.0%(872人)の削減を達成
⇒ H29までで22.6%(940人)の削減見込み
- ◆ 普通会計ベース(一般行政部門、教育部門、警察部門等)では、H16からH29までで9.8%(1,540人)の削減見込み
- 〔人件費の抑制効果〕
- ◆ 普通会計…職員1,534人削減。人件費累積削減効果は約1,447億円の見込み(H16～H28)
- ◆ 一般行政部門…定数抑制と給与水準引下げによりH29人件費はH16比で△約83億円(△27.7%)の見込み(単年度ベース)

県債の発行抑制

- ◆ 県債の新規発行額を抑制 ⇒ (H28 1,232億円…H29 670億円→H29 621億円)
- ◆ 県債残高は昨年度に引き続きH29末においても低減見込み(臨財債含む)
⇒ H29末県債残高見込み: 12,375億円(H28末見込み: 12,508億円、△132億円)
〔参考〕 H29末国債残高見込み: 865兆円(H28末見込み845兆円、+20兆円)



☞ 引き続き県財政の健全性を確保…特別職・管理職について経過的に行っていた給与の臨時的減額をH29より廃止